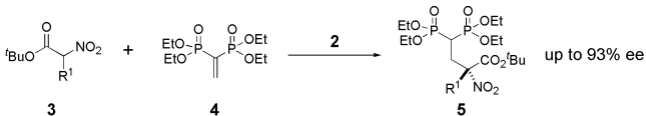
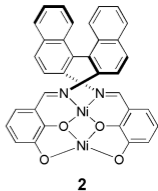
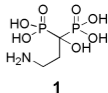


26Q-am004

触媒的不斉含窒素ビスフォスフォネート化合物群合成法の開発
○加藤 祐子¹, 陳 志華¹, 松永 茂樹¹, 柴崎 正勝¹(¹東大院薬)

【目的】パミドロナート **1** をはじめとするビスフォスフォネート骨格を有する化合物群は骨粗鬆症治療薬として現在広く臨床に適用されており、将来その適用範囲の拡大が期待される化合物群の一つである。しかし、その触媒的不斉合成の例は少なく、特により薬理活性が高いとされる含窒素ビスフォスフォネート化合物群に対する報告例はない。そのような点に着目し、我々は触媒的不斉含窒素ビスフォスフォネート化合物群合成法の開発に着手した。

【結果】柴崎研究室では不斉触媒 **2** による **3** を用いた高エナンチオ選択的マンニッヒ型反応を報告しており¹、この触媒 **2** を用い、**3** 及びビスフォスフォネート **4** を基質とするマイケル型反応を行ったところ高不斉収率にて反応が進行した²。本発表では基質一般性について報告する予定である。



1) Chen, Z.; Morimoto, H.; Matsunaga, S.; Shibasaki, M. *J. Am. Chem. Soc.* **2008**, *130*, 2170.

2) Manuscript in preparation.